

## 【参考資料】

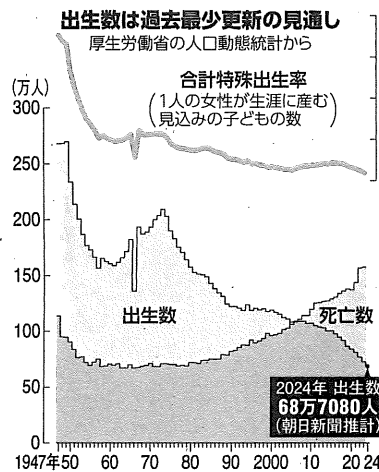
朝日新聞 令和6年12月25日（水）

人口動態統計速報  
（令和6年10月分）出生数 70万人割れ  
80万人割れから2年

2024年に国内で生まれた日本人の子どもは68万7千人程度と推計され、70万人を下回る見込みとなったことがわかった。統計のある1899年以降、過去最少を更新する見通しだ。国と同じ方法で朝日新聞が計算した。2年前の22年に77万759人となり初めて80万人を割ったばかりで、少子化に歯止めがかからない状況が続く。

## 日本人の子ども 本社推計

厚生労働省が発表する人口動態統計の24年10月の速報値などを、国が年間の出生数を推計するのに用いてきた計算式にあてはめた。その結果、24年の出生数は推計で68万7080人。23年の出生数（確定値）の72万7288人に比べて5・5％程度減少する見通



し。23年は前年比5・6％（4万3471人）減だった。婚姻数は推計で47万5千組程度で、23年の47万4741組からおおむね横ばいの見込み。

国立社会保障・人口問題研究所が昨年4月に公表した将来推計人口（中位推計）は24年の出生数を75万5千人と見込んでおり、それを大きく下回

る。少子化がより進むと想定した低位推計の66万8千人に近い。中位推計では35年過ぎまで70万人を維持するが、低位推計では35年には60万人を下回ると見込む。

出生数については、外国人を含む数値は翌年2月ごろ、日本人の出生数は翌年6月ごろに公表している。

少子化が加速すれば、現役世代の働き手の減少につながっていく。すでに人手不足が深刻な介護分野のほか、地方も都市部もさまざまな業界でサービスが提供できなくな

る恐れがある。

政府は年3・6兆円規模の少子化対策を昨年末に閣議決定。児童手当の拡充をはじめとした経済的支援や、保護者の就労要件を問わずに保育所などを利用できる制度などを盛り込んでいる。

**支援「辛抱強く」**

政府は「30年代に入るまでが少子化傾向を反転させるラストチャンス」とし、支援を拡充してき

た。だが、東京大の白波瀬佐和子特任教授（人口社会学）は「少子化の進行は1970年代半ばか

ら長期にわたって継続しているの、『反転』という言葉は誤解を生む」と指摘する。

結婚や出産は個人の自由で、子どもを持たない選択も尊重されるべきだとする一方で、子育てとキャリアの両立を希望する人への支援については、育児休業制度などが浸透し、仕事を続ける人が多数派になったと指摘。「少しずつ効果は出ている。ただ明確な効果としては表れにくく、辛抱強く果敢に施策を打ち続ける必要がある」と話す。

（川野由起）

# 出生数70万人割れ確実

## 今年10月統計基に試算

厚生労働省が24日に公表した10月の人口動態統計(速報値)などを基に有識者が試算したところ、2024年の日本人の出生数は約69万人にとどまる見通しとなった。国が統計を取り始めた1899年以降、初めて70万人を割る見込みで、少子化に歯止めがかからない現状が改めて浮き彫りになった。

試算したのは、デロイト

トーマツグループの経済系シンクタンク「DTFAインスティテュート」の奥田宏二主任研究員。1〜10月の出生数は60万3638人で前年同期比で4・9%減少した。奥田氏が今年1〜10月や過去10年の平均減少率などを基に試算したところ、今年1〜12月の出生数は日本在住の外国人らを含む速報値ベースで約72万人、日本人に限った概数だと約69万人の見込みとなった。

## 健康寿命平均寿命の差縮小

厚生労働省は24日、介護を受けたり寝たきりになったりせずに日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」が、2022年は男性72・57歳、女性75・45歳だった

た。

国立社会保障・人口問題研究所が23年に公表した将来推計人口(中位推計)では日本人の出生数が70万人を割るのは38年。想定より14年程度早いペースで少子化が進んでいると言える。奥田氏は「全国的には出産する年代の女性が減っていることが大きな要因だが、地域ごとに異なる課題もある。より地域に合った少子化対策が必要」と指摘した。

【塩田彩】

と公表した。前回調査の19年(男性72・68歳、女性75・38歳)から、ほぼ横ばいで推移。同省担当者は「新型コロナウイルス感染症で平均寿命が短くなったことが影響した可能性がある」としている。

健康寿命は3年ごとに公表。平均寿命との差は日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味するため、厚生労働省は差を縮めることを

目指している。22年の差は男性8・49歳、女性11・63歳となり、初公表の10年以降、縮小傾向が続いている。都道府県別で健康寿命が最長だったのは、男女ともに静岡県で男性73・75歳、女性76・68歳。最短はともに岩手県で男性70・93歳、女性74・28歳だった。

厚生労働省は本年度からの12年間の健康づくり計画「健康日本21(第3次)」で、健康寿命の延伸と都道府県格差の縮小を掲げ、喫煙・飲酒や睡眠、女性の骨粗しょう症検診の受診率に関する数値目標も設定している。22年の健康寿命は、24日に開かれた専門委員会で報告された。

# 人口動態統計速報

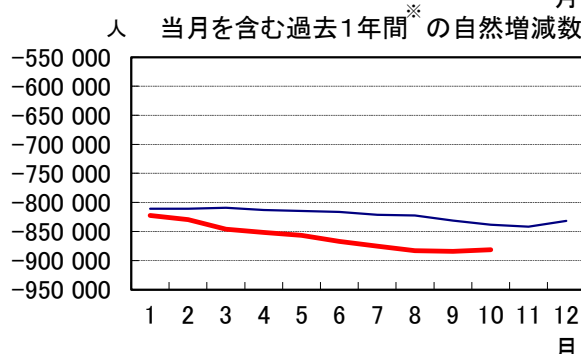
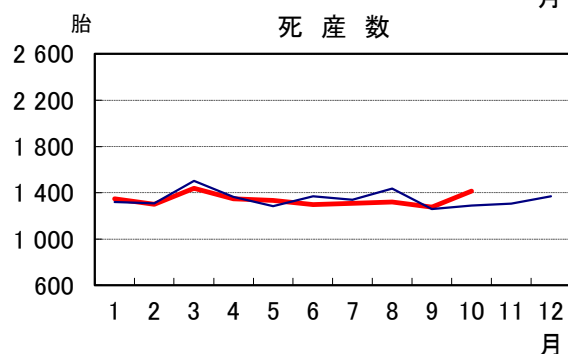
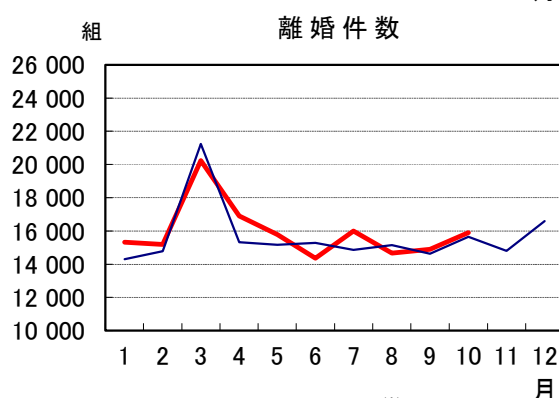
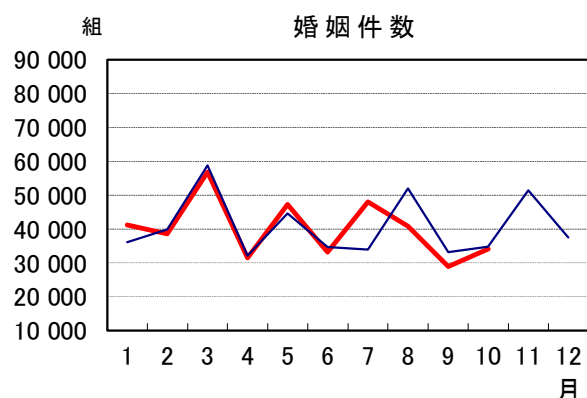
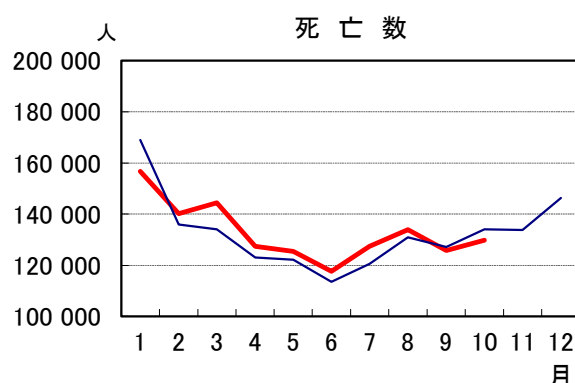
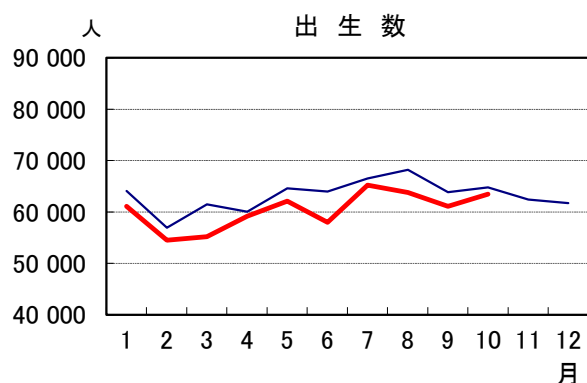
## (令和6年10月分)

令和6年12月24日

人口動態統計は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の各事象について、各種届出書等から人口動態調査票が市区町村で作成され、これを収集し集計したものである。

**速報の数値は調査票の作成枚数であり、日本における日本人、日本における外国人、外国における日本人及び前年以前に発生した事象を含むものである。**

そのうち、日本における日本人についてまとめたものが人口動態統計月報(概数)であり、この月報(概数)に若干の修正を加えたものが人口動態統計年報(確定数)である。



※R5年1月…R4年2月～R5年1月までの1年間

R5年2月…R4年3月～R5年2月までの1年間

⋮

R6年10月…R5年11月～R6年10月までの1年間

(担当)

厚生労働省政策統括官付参事官付  
人口動態・保健社会統計室 月報調整係  
(TEL)03(5253)1111(内線 7476)  
03(3595)2813(ダイヤルイン)

令和6年  
令和5年

人口動態総覧－対前年比較－

		実 数				年 換 算 率		
		令和6年	令和5年	差引増減	増減率(%)	令和6年	令和5年	対前年比
10月								
出 生		63 471	64 802	△ 1 331	△ 2.1	6.1	6.1	98.7
死 亡		129 712	133 993	△ 4 281	△ 3.2	12.4	12.7	97.5
自 然 増 減	△	66 241	△ 69 191	2 950	…	△ 6.3	△ 6.6	…
死 産		1 414	1 290	124	9.6	21.8	19.5	111.7
婚 姻		34 120	34 783	△ 663	△ 1.9	3.3	3.3	98.8
離 婚		15 901	15 652	249	1.6	1.52	1.48	102.3
1月から当月までの累計(令和6年1月～令和6年10月)								
出 生		603 638	634 458	△ 30 820	△ 4.9	5.8	6.1	95.6
死 亡		1 328 678	1 310 323	18 355	1.4	12.9	12.6	101.8
自 然 増 減	△	725 040	△ 675 865	△ 49 175	…	△ 7.0	△ 6.5	…
死 産		13 386	13 475	△ 89	△ 0.7	21.7	20.8	104.3
婚 姻		400 373	400 261	112	0.0	3.9	3.9	100.5
離 婚		159 281	156 390	2 891	1.8	1.54	1.51	102.3
当月を含む過去1年間(令和5年11月～令和6年10月)								
出 生		727 811	764 315	△ 36 504	△ 4.8	5.9	6.1	95.7
死 亡		1 608 858	1 603 046	5 812	0.4	13.0	12.9	100.8
自 然 増 減	△	881 047	△ 838 731	△ 42 316	…	△ 7.1	△ 6.7	…
死 産		16 064	16 040	24	0.1	21.6	20.6	105.1
婚 姻		489 393	498 022	△ 8 629	△ 1.7	3.9	4.0	98.7
離 婚		190 689	186 627	4 062	2.2	1.54	1.50	102.6

注：前年の数値も速報値である。自然増減は、出生から死亡を減じたものである。  
率計算には「人口推計月報」(総務省統計局)により、該当月の総人口(概算値)を用いた。

年換算率の計算式

当月分

$$\text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\text{その月の件数(出生・死亡・婚姻・離婚)}}{\text{その月の人口} \times \frac{\text{その月の日数}}{\text{年間日数}}} \times 1,000$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\text{その月の出生数} - \text{その月の死亡数}}{\text{その月の人口} \times \frac{\text{その月の日数}}{\text{年間日数}}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{その月の死産数}}{\text{その月の出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

1月分からの累計

$$\text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\sum_i (\text{i月の件数(出生・死亡・婚姻・離婚)})}{\sum_i (\text{i月の人口} \times \frac{\text{i月の日数}}{\text{年間日数}})} \times 1,000$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\sum_i (\text{i月の出生数}) - \sum_i (\text{i月の死亡数})}{\sum_i (\text{i月の人口} \times \frac{\text{i月の日数}}{\text{年間日数}})} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\sum_i (\text{i月の死産数})}{\sum_i (\text{i月の出産(出生+死産)数})} \times 1,000$$

注： $\sum_i$  は、1月からその月までの累計である。

過去1年間

$$\text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\text{その月を含む過去1年間の件数(出生・死亡・婚姻・離婚)}}{\text{その月を含む過去1年間の中央人口}} \times 1,000$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\text{その月を含む過去1年間の出生数} - \text{その月を含む過去1年間の死亡数}}{\text{その月を含む過去1年間の中央人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{その月を含む過去1年間の死産数}}{\text{その月を含む過去1年間の出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

注:R5.11～R6.10の中央人口は、令和6年5月1日現在人口を用いた。

都道府県		出生数	死亡数	死産数	婚姻件数	離婚件数
全 国		63 471	129 712	1 414	34 120	15 901
01	北 海 道	2 017	6 333	64	1 190	750
02	青 森	482	1 690	9	262	134
03	岩 手	451	1 615	4	206	141
04	宮 城	1 027	2 525	28	598	274
05	秋 田	296	1 450	7	149	93
06	山 形	374	1 445	6	187	99
07	福 島	706	2 139	23	382	220
08	茨 城	1 258	3 134	24	652	375
09	栃 木	876	2 102	17	469	229
10	群 馬	906	2 222	28	442	234
11	埼 玉	3 827	6 917	84	1 933	872
12	千 葉	3 123	6 029	55	1 628	774
13	東 京	7 901	11 550	179	5 628	1 788
14	神 奈 川	4 549	8 167	133	2 873	1 152
15	新 潟	902	2 802	16	411	225
16	富 山	466	1 198	12	270	90
17	石 川	552	1 181	15	276	116
18	福 井	408	842	13	170	85
19	山 梨	370	915	5	183	112
20	長 野	951	2 386	19	479	241
21	岐 阜	965	2 177	31	419	210
22	静 岡	1 636	3 965	17	855	448
23	愛 知	4 433	6 497	82	2 307	948
24	三 重	890	1 922	17	420	197
25	滋 賀	808	1 248	14	352	145
26	京 都	1 222	2 506	32	669	307
27	大 阪	4 887	8 852	109	2 737	1 260
28	兵 庫	2 898	5 610	68	1 400	684
29	奈 良	604	1 312	12	250	145
30	和 歌 山	431	1 133	4	209	114
31	鳥 取	271	651	5	107	64
32	島 根	316	879	11	126	57
33	岡 山	945	2 004	26	467	242
34	広 島	1 484	2 811	31	652	334
35	山 口	596	1 662	5	295	151
36	徳 島	336	888	6	160	72
37	香 川	457	1 112	7	209	130
38	愛 媛	636	1 614	11	304	162
39	高 知	287	920	4	110	92
40	福 岡	2 933	5 014	71	1 430	782
41	佐 賀	415	906	12	187	99
42	長 崎	646	1 518	14	259	160
43	熊 本	919	1 957	18	415	260
44	大 分	561	1 337	13	254	150
45	宮 崎	565	1 333	12	241	168
46	鹿 児 島	780	1 946	14	340	207
47	沖 縄	1 108	1 296	27	558	309
再掲	東京都区部	5 855	7 659	136	4 574	1 319
	札 幌	856	2 073	33	585	321
	仙 台	544	1 016	12	373	148
	さいたま	812	1 124	16	431	172
	千 葉	477	916	8	263	131
	横 浜	1 939	3 235	79	1 203	468
	川 崎	871	1 100	17	649	195
	相 模 原	353	688	11	204	104
	新 潟	364	903	10	178	92
	静 岡	294	747	1	168	100
	浜 松	410	828	2	221	82
	名 古 屋	1 386	2 140	30	906	322
	京 都	716	1 388	22	451	167
	大 阪	1 644	2 806	47	1 220	435
	堺	440	871	13	196	111
	神 戸	775	1 485	23	428	178
	岡 山	420	652	15	199	98
	広 島	700	1 039	16	321	145
	北 九 州	475	1 032	16	230	120
	福 岡	1 025	1 263	29	633	251
	熊 本	450	688	12	240	119

注：都道府県別の表章は、届出地による。

人口動態総覧(件数), 都道府県(特別区―指定都市再掲)別

令和6年1月～令和6年10月

都道府県		出生数	死亡数	死産数	婚姻件数	離婚件数
全 国		603 638	1 328 678	13 386	400 373	159 281
01	北 海 道	19 728	62 998	507	14 589	7 518
02	青 森	4 544	16 895	94	2 779	1 510
03	岩 手	4 336	16 140	100	2 615	1 241
04	宮 城	9 785	23 784	244	6 742	2 719
05	秋 田	2 999	14 344	63	1 848	910
06	山 形	4 158	13 968	78	2 422	1 026
07	福 島	7 226	22 467	157	4 358	2 189
08	茨 城	12 464	32 180	252	7 578	3 493
09	栃 木	8 240	21 078	181	5 347	2 362
10	群 馬	8 593	22 836	188	5 187	2 406
11	埼 玉	35 117	70 892	844	22 285	8 807
12	千 葉	29 590	62 093	610	19 189	7 630
13	東 京	72 965	116 822	1 602	64 940	17 853
14	神 奈 川	44 161	84 212	1 388	32 041	11 135
15	新 潟	8 774	27 212	178	5 271	2 146
16	富 山	4 548	12 597	69	2 699	946
17	石 川	5 305	12 546	94	3 064	1 169
18	福 井	3 910	8 732	87	2 097	807
19	山 梨	3 694	9 214	77	2 246	988
20	長 野	9 326	23 914	160	5 648	2 286
21	岐 阜	9 016	21 694	196	5 232	2 249
22	静 岡	15 764	40 825	244	10 372	4 239
23	愛 知	40 821	68 531	843	26 593	9 450
24	三 重	8 032	19 844	157	4 959	2 147
25	滋 賀	7 760	12 835	179	4 212	1 657
26	京 都	11 445	26 047	248	7 774	3 154
27	大 阪	46 546	90 965	977	32 493	13 070
28	兵 庫	26 804	56 478	522	16 279	7 060
29	奈 良	5 911	14 126	114	3 191	1 547
30	和 歌 山	3 955	12 189	55	2 439	1 261
31	鳥 取	2 727	6 634	61	1 405	665
32	島 根	3 262	8 542	74	1 661	694
33	岡 山	9 529	21 168	210	5 527	2 496
34	広 島	13 985	29 580	294	8 233	3 561
35	山 口	5 960	17 696	102	3 483	1 591
36	徳 島	3 118	9 380	62	1 872	854
37	香 川	4 437	11 305	80	2 675	1 277
38	愛 媛	5 819	16 788	113	3 451	1 643
39	高 知	2 709	9 494	61	1 696	921
40	福 岡	27 951	52 211	667	17 325	7 581
41	佐 賀	4 214	9 511	65	2 150	1 031
42	長 崎	6 233	16 513	166	3 399	1 660
43	熊 本	9 321	20 487	234	4 979	2 384
44	大 分	5 315	13 944	121	2 904	1 477
45	宮 崎	5 313	13 575	132	2 852	1 520
46	鹿 児 島	7 927	20 158	192	4 198	2 185
47	沖 縄	10 301	13 234	244	6 074	2 766
再掲	東京都区部	53 446	77 614	1 250	52 758	12 983
	札 幌	8 436	20 313	242	7 005	3 096
	仙 台	5 320	9 298	142	4 147	1 360
	さいたま	7 572	11 229	117	4 992	1 453
	千 葉	4 564	9 344	98	3 078	1 157
	横 浜	18 120	33 292	886	13 408	4 368
	川 崎	8 680	11 346	166	7 321	1 752
	相 模 原	3 291	6 905	73	2 126	953
	新 潟	3 602	8 829	69	2 273	838
	静 岡	2 980	7 763	49	2 119	817
	浜 松	3 861	8 398	60	2 550	857
	名 古 屋	13 027	21 840	305	10 248	3 198
	京 都	6 235	14 385	154	5 239	1 842
	大 阪	15 269	29 168	429	14 365	4 690
	堺	4 211	8 972	84	2 789	1 161
	神 戸	7 085	15 149	181	5 012	2 021
	岡 山	4 014	6 871	118	2 525	1 039
	広 島	6 559	10 666	163	4 172	1 612
	北 九 州	4 506	11 018	120	2 838	1 319
	福 岡	9 852	12 728	312	7 644	2 395
	熊 本	4 606	7 297	116	2 790	1 097

注：都道府県別の表章は、届出地による。